

KASAI データバンク H22.1.31 現在 (前月比)	人口 / 48,605 (-36)	世帯数 / 16,974 (+4)
	男 / 23,666 (-18)	女 / 24,939 (-18)
	1月の出生数 / 25人	死亡数 / 34人



▲直径1cmのオニバスの種子を採取する参加者

希少種オニバスの種子を採取

絶滅の危険が増大している希少種オニバスを保存しようと、市内で唯一自生している合同池(北条町)で1月31日、種子の採取が行われ、15人が参加しました。

池を管理する北条12区区長会や自然愛好家グループ加西ナチュラルリストクラブなどの協力をかけ、市環境創造課が実施。参加者は水を抜いた池底に散らばる種子を拾い、全員で約400個を採集しました。今後、専門家と相談の上、保存・栽培などを検討します。



▲オニバス(環境省レッドデータ絶滅危惧II類)

加西市への視察が増えています

加西市の先進的な公民連携の取り組みが、全国の議会や団体から注目を集めています。

1月13日には、住民の側に立つことを原点として活動する、全国各地の市議らで構成している「無党派・市民派自治体議員と市民のネットワーク」のメンバー17人が加西市を視察。中川市長や経営戦略室主幹らが、6時間にわたり加西市の公民連携の推進状況について説明しました。

事業仕分けや環境施策など、この2~3年多くの視察を受け入れています。21年度は他の市議会からの視察だけでも13件ありました。



▲「無党派・市民派自治体議員と市民のネットワーク」の視察



▲「芳情浪漫」の入ったCDを贈呈する石田さん(左)

北条鉄道の歌「芳情浪漫」を作った石田さんが表敬訪問

北条鉄道をテーマにした歌「芳情浪漫」を作成した神戸市出身の人気ソングライター石田裕之さんが1月25日、中川市長を表敬訪問しました。

石田さんは「赤字ローカル線を支える多くの人達の情熱に感動し、それを応援したいと思いました」と同曲のテーマを語りました。市内では、これまで北条鉄道コンサート列車や下里幼稚園で公演し、前日24日にも、ふく蔵(三口町)でコンサートを開催。観客約100人の前で同曲が披露され、大いに盛り上がりました。

同曲の入ったCD「I LOVE HYOGO 1」は、北条町駅で販売中。売上げの一部は北条鉄道に寄付されます。



▲「大根の和風オムライス」を調理する参加者。この日は12名が参加

おばちゃんパワーを活用「交流カフェ」

アステアかさい3階地域交流センターで1月27日、加西市連合婦人会(谷勝平代表)主催によるおばちゃん活性化事業「交流カフェ」が開催されました。

このカフェは、地域住民の交流を目的に、誰もが気軽に立ち寄り語り合える場を提供しようとするもので、参加者は市内で採れた野菜などを使ったオリジナル料理で来館者をもてなします。

主催する谷勝さんは「料理を通じ、参加した女性自身の活性化にも繋がれば」と事業への想いを語られました。

市役所で障害者授産製品を展示・販売

市内には障害を持ちながら就労や社会参加を目指して精力的な活動をしている方がたくさんいます。そうした方々が支援施設等で製作した授産製品を、市役所で展示・販売しています。色鮮やかな糸で手織りされた「さをり織り」製品や素朴な木工品など、数多くを展示。製品購入等詳しくは社会福祉課(☎8725)まで。

■授産製品バザー開催のお知らせ

まごころを込めて作ったパンやクッキーなどを販売。

日時 / 2月26日(金) 11:00 ~ 14:00

場所 / 市役所1階市民ホール

販売品 / パン、クッキー、パウンドケーキ、手芸品、工芸品など



▲市役所1階市民ホールにて授産製品を展示中。



餅つきで地元交流を楽しむ

北部公民館の子育て学習センターに参加している親子と地元の方が交流する「地域の方から学ぶ遊びと餅つき大会」が1月17日、同公民館で開催されました。

参加した親子は、手作りのおもちゃの素朴さや愛らしさを学んだり、地元産の餅米を使って餅つきをするなどして、地域の触れ合いを楽しみました。

◀「よいしょ」と元気の掛け声でお餅つき。237名が参加



加西市代表選手賞賜金を授与

短距離走選手として活躍する九会小学校6年生の岩本拓磨くんが1月29日、八巻教育長から加西市代表選手賞賜金が授与されました。

岩本くんは、昨年10月18日に開かれた第33回兵庫県小学生陸上競技大会において、6年生男子100mの競技種目で13秒12の記録で優勝。2月11日開催の2010年日本ジュニア室内陸上大阪大会へ出場しました。

岩本くん(左)を激励する教育長▶

2010年成人式

1月11日、市民会館で成人式が開催され、加西市の新成人(平成元年4月2日~平成2年4月1日生まれ)536人の内427人が式典に参加し、久しぶりに会う友人たちと旧交を温めました。

成人式を企画運営した成人式実行委員会は、貧困に苦しむ世界の子どもたちへの支援のためペットボトルキャップ回収を呼びかけ、62,320個(ポリオワクチン約78人分)のキャップを集めて関係機関に寄付しました。▼参加者全員で記念撮影

